

Letters

レターズ / 会員の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

千葉県柏市

M・Tさん

お陰様で次男が19歳になり、この度、給付完了のお知らせをいただきました。長い間お世話になり、ありがとうございます。

主人がなくなったのは、長男が中3、長女が小6、次男が小4、次女が小1の時でした。当時は先が見えない暗闇の中にいて一日一日を夢中で過ごしてきました。あれから9年、長男、長女は大学、短大を卒業して社会人になり、次男は調理師専門学校2年、次女は高校2年になりました。これまでたくさんの方々を支えていただき、優しい気持ちをいただいたりお世話になったりしながら、なんとか今日まで過ごすことができました。

当初は“交通遺児”の仲間に入ることを拒んでいた私達でしたが、基金に入り、給付だけでなく、(友の会の)わくわく探検隊、ディズニージー、二岡ボックス等へのご招待、図書カード、映画券のプレゼント等たくさんお世話になり、皆様の温かいお気持ちに心より感謝しております。

橋本むつ様のように私財を投じて交通遺児を励ましてくださる方がいらっしゃる。二岡選手のようにご自身も交通遺児でありながら、社会人となって恩返しにとプレゼントを続けてくださる方がいらっしゃることに感激して、ほんとうにたくさんの方々へ心を寄せていただき励まされ、少しずつ笑顔が増え、希望が持てるようになってまいりました。子ども達にはいただいたご恩を忘れずに成長して行ってほしいと願っております。

次女がもうしばらくお世話になります。どうぞよろしく願いいたします。

島根県雲南市

E・Fさん

長い間、本当にお世話になりました。

思えば娘が三歳の誕生日の前日、主人と次女の二人を亡くし、あれから十六年、今年は十七回忌を無事に終えました。あの時、育成基金に出会い、主人の残してくれた二人の子供のためにと預けました。手元があればいつしか生活費に消えていただろう…。毎回送られるのをたのしみに、子供のためにと手をつけずにいました。娘も今春、高校を卒業し、専門学校に進み、独り暮らしをはじめました。今こそ役に立っています。

小中高と入学のたびに送られる「橋本給付金」も本当にありがたかったです。

あと三年、長男の分もよろしく願いいたします。

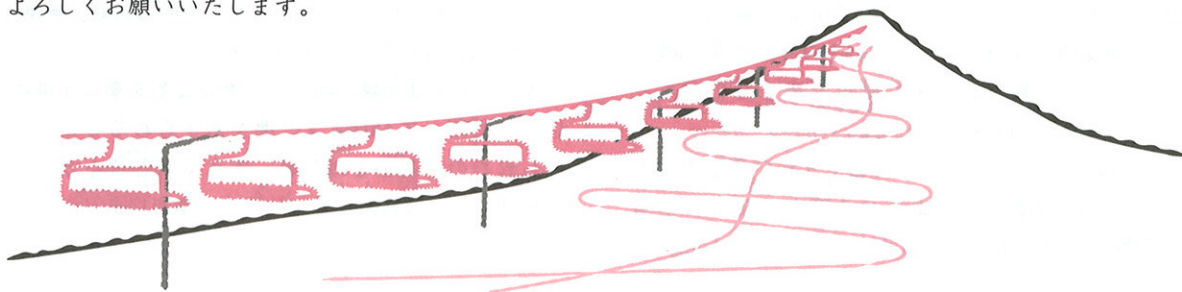
埼玉県草加市

K・Tさん

初秋の候、御一同様にはお元気のことと御推察申上げます。永い間、大変お世話になり誠に有りがとう御座居ました。

お陰様で孫も大学一年生になり、まじめに通学致して居ります。御一同様の心を通じ、他人にやさしい心の持主に育ちました事を御報告申上げ、厚く御礼申上げます。永い間、誠に有りがとう御座居ました。

最後に御一同様の御健康と御多幸をお祈り申上げ、失礼申上げます。



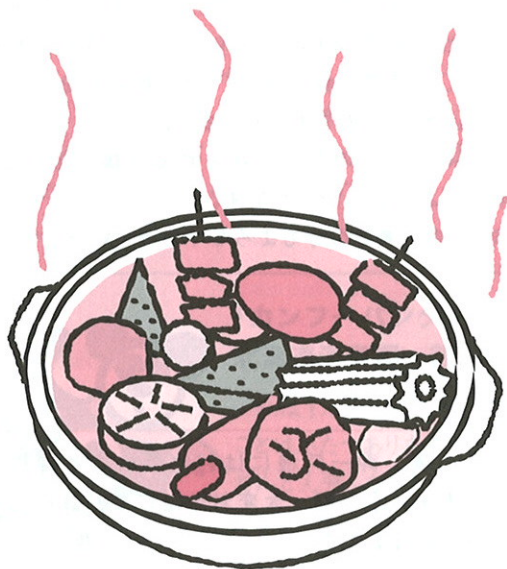
京都府宇治市

N・Nさん

前略 いつもいつも見守っていただきありがとうございます。主人が亡くなってから18年が経ちました。

心細く不安な日々も、どこか強く生き抜いてこられたのも育成基金のおかげだと感じています。3人の息子達もすべてお世話になり、晴れて巣立つ時を迎えることができました。

本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



大阪府大阪市

M・Sさん

この度、19才の誕生日を迎え、基金から卒業する事となりました。4才になってすぐ父親を亡くし15年間お世話になりました。この15年間金銭面だけでなく、基金から届く冊子を読ませていただいて色々とお励みになりました。

また私のパート収入では到底できない大学進学も基金のお陰で娘に不自由させる事なくでき、本当に感謝しております。ありがとうございました。

広島県府中市

M・Sさん

毎号、スマイルズが届くのを楽しみにしています。スマイルズは、スマイルトークがいつもどんな方が登場されるかとても楽しみです。人生の事等、考えさせられます…共感を持ったり、アドバイスをもらったり。

本当に盛り沢山の内容のスマイルズですネ！クイズも楽しいし、私も一度挑戦して応募してみたいと思っています。これからもよろしくお願いします。

静岡県焼津市

T・Mさん

毎回楽しみに拝見させて頂いています。本紙の絵とこう見えるミュージアムが特に気に入りで楽しみにしています。

毎回出されるお題の形にわが子たちも頭をひねり、自分が1番かのように思いを浮かべ、本紙にのるのを夢見ております。

こんな子どもたちの目を輝かせている姿を見て、勉強にもこの輝きをもって取り組んでくれたらなあー、なんて思う母です。

山口県宇部市

M・Kさん

交通遺児育成基金の皆様、本当に長い間、ありがとうございます。

今夏、息子は満19歳の誕生日を迎え、給付金が完了することとなりました。生後100日を迎える前に夫が亡くなり、すぐに入会しました。

毎年、給付金完了の方々の感想文を読みながら、私たち親子にもそんな日が来るだろうかと、遠い先のことと思っておりましたが、周囲の皆様にも助けられ、無事、その時を迎えることができました。

現在、息子は父親と同じ道に進むことを夢に予備校にてがんばっております。夢をあきらめることなくいられたのも基金をはじめ、支えて下さった方々のおかげと心より感謝しております。本当にありがとうございました。